

指定管理者モニタリング結果報告書（令和4年度分）

- ・ 施設名 : 塩飽勤番所跡
- ・ 施設所管部課 : 教育部文化財保存活用課
- ・ 指定管理者 : 史跡塩飽勤番所顕彰保存会

区 分	内 容	
実施時期	定期モニタリング：令和5年2月21日（火）午前11時30分～ 随時モニタリング：毎月の来館者数報告書受け取り時、聞き取り調査を実施	
実施方法	定期モニタリング：指定管理者業務状況聴取表により調査を実施 随時モニタリング：毎月の来館者数報告書受け取り時、聞き取り調査を実施	
実施結果	①施設の状況	トイレや門（入口）の修繕を実施するとともに、塩飽勤番所の西側に駐車場を整備した。周囲の外壁に亀裂や傷みが見られるため、修繕予定である。
	②施設の利用状況	年間4,593人（前年度996人）※各年度1月末現在 今年度9/29から11/6まで、瀬戸内国際芸術祭秋会期が開催されたため、期間中、利用者が増加した。
	③施設利用者の意向把握と対応	現在アンケートは実施していないが、利用者とコミュニケーションをとり、要望等を聞いている。
	④管理体制	3名の管理人で交代勤務としている。土日祝は2名、平日は1～2名での管理。会長は必要に応じて出勤している。
	⑤管理経費	節電に努め、無駄な経費が出ないように努めている。 事業計画書の範囲内の経費で管理ができています。
	⑥緊急時の対応について	緊急時は管理人から会長へ速やかに連絡をとり、会長から教育委員会、消防団等へ速やかに連絡することになっている。休館日についても、異常を発見すれば会長へ連絡してもらえよう、隣家に依頼している。
	⑦その他（指定管理者の業務遂行能力等）	今年度は瀬戸内国際芸術祭秋会期が開催され、入館収入は増加し、回復した。指定管理者の財務状況に大きな問題はなく、指定管理業務の継続的な実施に支障は見られない。
	⑧改善指示事項	引き続き、利用者を増やすための方策や文化財の保存と活用を考えること。
実施結果に対する所管課の意見	施設の中や周辺の清掃を丁寧に行い、管理状況は良好である。今年度は、瀬戸内国際芸術祭秋会期があり、利用者が増加したが、今後、いかに塩飽勤番所を活用し、誘客するかが課題である。	
今後の施設管理に反映(改善)する事項	古い建造物であるため、修理が必要な所がないか常に点検確認を行い、適切な保存と活用に努める。今年度、瀬戸内国際芸術祭秋会期が開催され、展示等を行ったが、今後も史跡塩飽勤番所顕彰保存会と協力して、展示のリニューアルや誘客イベントを実施し、より一層の集客に努めたい。	